

体に負担の少ない正確で安全な治療

放射線治療科

放射線治療科について

当院放射線治療科は、本年度より常勤の放射線治療医師1名、放射線治療専門技師1名、専任看護師1名にて、診療をスタートいたしました。外来または入院で、毎日15名程度の患者の放射線治療を行っています。治療対象領域は、脳神経や耳鼻科領域、外科領域として食道、肺、肝臓、乳房、直腸など、他に婦人科や、泌尿器領域と、広範囲の癌・悪性腫瘍にわたります。小倉南区から、苅田、京築、行橋、豊前の福岡県東端の医療圏では、放射線治療専門医が常勤する施設は当院のみとなります。治療に関する相談や、緊急の放射線治療の依頼など、お気軽にご連絡して頂けたらと思います。

治療患者数の推移

当院は10年以上前から移転前の葛原町でもがん患者の放射線治療を行っていたこともあり、曾根北町に移転した6年前より新たにリニアックによる放射線治療を開始、移転の初年は80人程度の新規患者を治療、年ごとの患者数は年を追うごとに増加を認め、昨年は170人程度となっています(図1)。

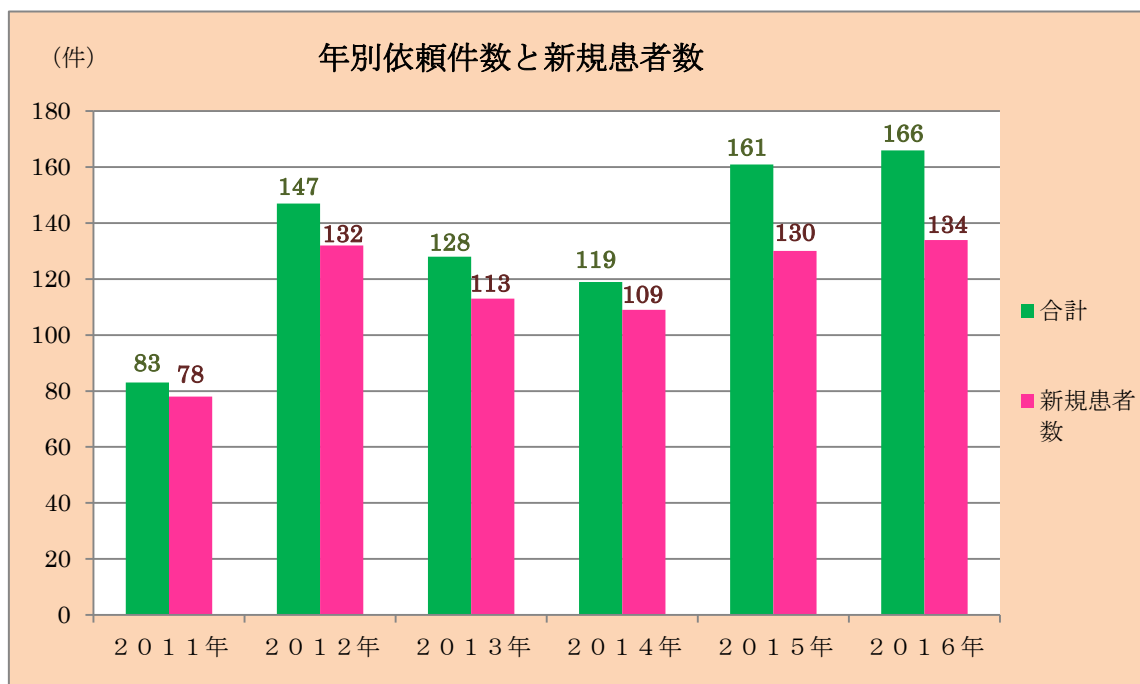


図1

┃ 当院の放射線治療について

手術、抗がん剤治療、放射線治療ががんの三大治療として確立され、中心となっていますが、この中でも放射線治療は治療機器の進歩とともに、近年QOLを下げない治療法（臓器の機能形態を温存する治療法）として、発展してきました。

当院ではリニアックに附属する画像誘導放射線治療システムを用い、正確で安全な放射線治療を行っています。治療時間は1日1回10分程度の治療で、体への負担は少なく、通院での治療も可能です。装置の性能、治療技術の向上により、治療効果は向上し、副作用なども軽減されています。

図2に食道癌の化学放射線療法を行った症例、図3に早期の肺癌で外科手術が困難な症例に対して、ピンポイント放射線治療（定位放射線照射）を行った症例を例示します。

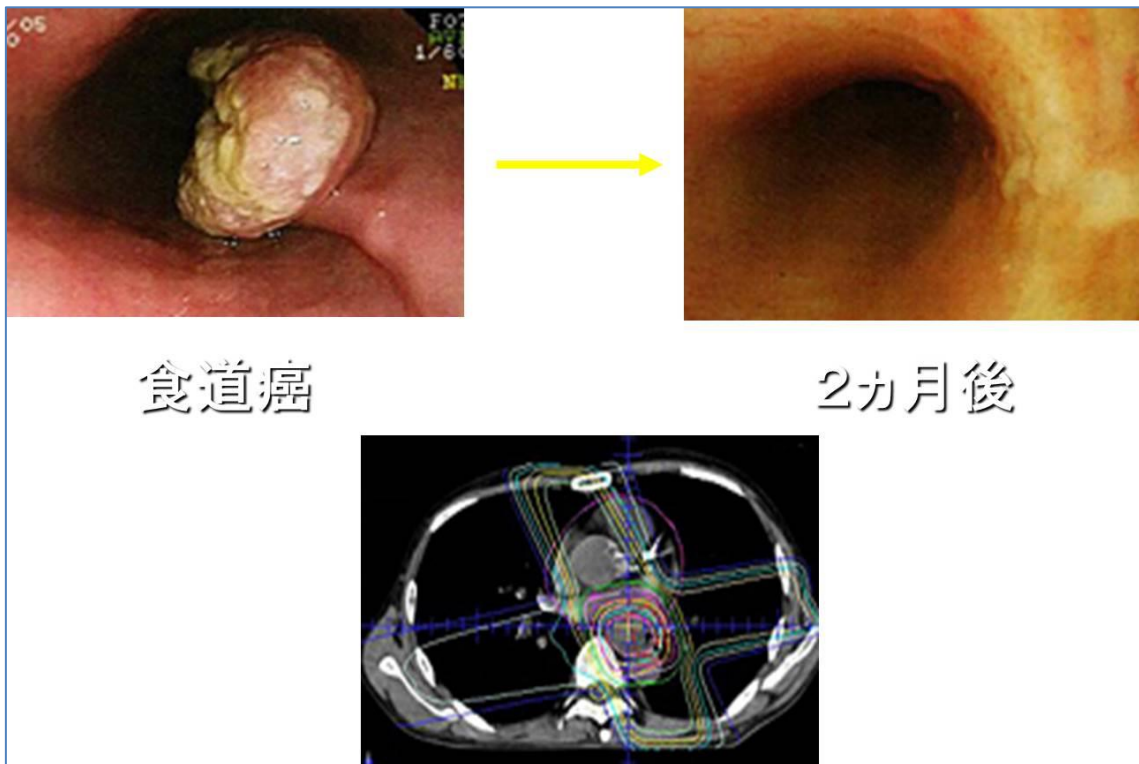


図 2

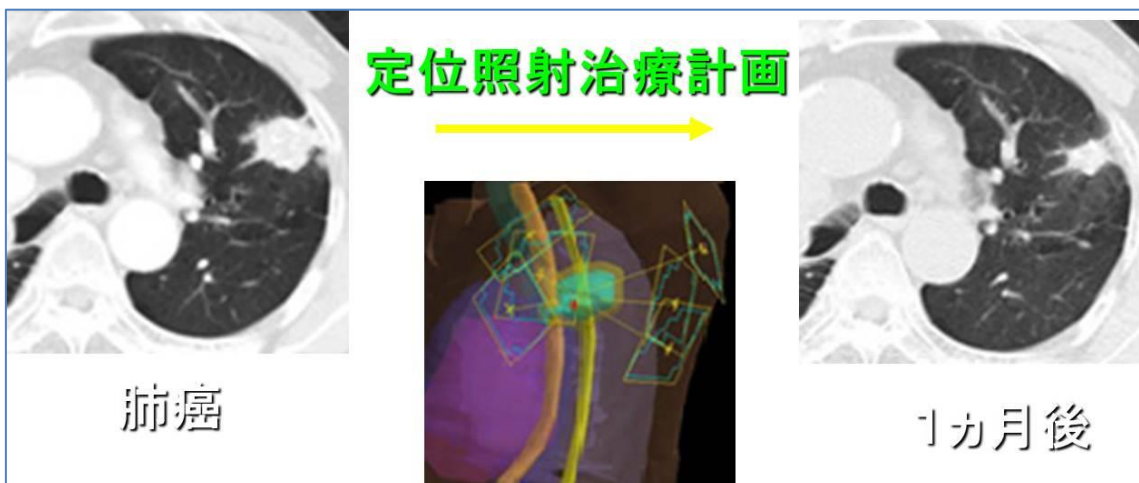


図 3